

警告・エラーイベントが記録される現象について

ホスト OS に記録されるアプリケーションイベントログ

イベントログ内容

種類: 警告

ソース: WMI

イベント ID: 63

説明:

プロバイダー HgsClientWmi は LocalSystem アカウントを使うために Windows Management Instrumentation 名前空間 root¥Microsoft¥Windows¥Hgs に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダーがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。

現象

Hyper-V 有効化時に、イベントログ(アプリケーションログ)に次の警告イベントが記録される。

発生条件

Hyper-V を有効化する (Hyper-V 有効化後にのみ登録される。以降の起動では、未発生)

対処方法

対処する必要はありません。

解説

Windows 管理インストルメンテーション (WMI) プロバイダーのホスト プロセスが特権を持つローカル システム アカウントで実行されたことが原因です。

HgsClientWmi プロバイダーが信頼できる発行元(Microsoft)であるために、このイベントは無視してかまいません。

ホスト OS に記録されるシステムイベントログ

イベントログ内容
種類: 警告 ソース: Service Control Manager イベント ID: 7000 説明: VMSP サービスを、次のエラーが原因で開始できませんでした。 システム リソースが不足しているため、要求されたサービスを完了できません。
現象
Hyper-V 有効化時に、イベントログ(システムログ)に上記の警告イベントが記録される。
発生条件
Hyper-V を有効化する (Hyper-V 有効化後にのみ登録される。以降の起動では、未発生)
対処方法
対処する必要はありません。
解説
Hyper-V のインストール直後には VMSP の動作に必要なレジストリが不足しており、本イベントログが登録されます。 上記のエラーメッセージが出力された後に不足していたレジストリ情報がセットされ、二回目以降の再起動時には登録されなくなります。 このため、初回再起動時に登録される場合は問題ありません。

イベントログ内容

種類: エラー

ソース: Hyper-V-VMMS

イベント ID: 20790

説明:

'C:\Users\Public\Documents\Hyper-V\Virtual Hard Disks\WS2019.vhdx' のセキュリティ情報を設定できませんでした: 'アクセスが拒否されました' ('0x80070005')。

現象

Hyper-V ホスト OS に上記のエラーイベントが登録される。

発生条件

仮想マシンのチェックポイントを適用すると登録される。

対処方法

対処する必要はありません。

解説

チェックポイント適用時に VHD に対するセキュリティに関する処理が行われますが、この処理が失敗し、エラーが登録されます

ただし、このエラーが発生してもチェックポイント自体は正しく適用できているため、発生条件に合致している場合、本ログは無視して問題ありません。